

# ネット不要の災害測量

## 「CLASロガー」開発

### 第一工科大学の田中研究室

第一工科大学の田中研究室（田中龍児教授）はこのほど、インターネットがつかない山奥など災害測量に役立つ「CLASロガー」を開発した。重たいパソコンを持ち歩く必要がなく、ネットワーク型RTK-GNSSのような手軽さで測位できるのが特長で、インター

ネットや基準局が不要な上、データは現場でダウンロードが可能と現場作業の効率を高める。CLASとは、日本版GPSの「みちびき」を受信して、センチメートル精度の位置情報を取得できる無料のサービス。研究室では、災害現場などでインターネットやスマホ

がつかりにくい環境下で、CLASが使えるのではないかと考え開発に取り組んできた。加えて、オフラインで計算できる元期変換プログラムも作成した。

これは、国土地理院の測量成果「元期」とCLASで観測を行った時点の「今期」を「元期」へ変換するための

ツールで、同院の測量計算サイトを利用しなくて済む。田中教授は「大手メーカーでも類似する製品はあるが、元期変換までインターネットを使わないのは初めてなので」と話す。緊急を要する災害現場の測量に一役買いそうだ。興味がある方は、同研究室（メール r-tanaka@daiichi-koudai.ac.jp）まで。